

東京のまちづくり

東京都建設局

特集1 台風シーズンに向けてもしもに備えよう
～河川における水防災情報の活用～

特集2 木造住宅密集地域を改善する、命を守るまち
～特定整備路線の整備推進～

特別特集 神代植物園 春のバラフェスタ



台風シーズンに向けて もしもに備えよう

～河川における水防災情報の活用～



雨が降り出したら

- 台風や集中豪雨などの大雨時に川の近くに向かうことは大変危険です。パソコンやスマートフォンなどにより水防災総合情報システムや東京都水防チャンネルを確認し、川の状況をご確認ください。
- テレビやインターネット・携帯端末などで最新の気象や災害に関する情報を確認してください。
- 周囲の状況に注意し、普段と異なる状況に気がついた場合には、直ちに安全な場所に避難してください。

①水防災総合情報システム※1

都内の雨量情報、河川水位情報、河川監視カメラの映像※2をリアルタイムに発信しています。大雨により川が溢れる恐れや土石流・がけ崩れの危険性が高まった場合に、氾濫危険情報や土砂災害危険情報を発表しています。

また、令和5年3月に本システムのデザインを一新しました。河川監視カメラ、水位、雨量情報を1画面で統合表示し、国や区市町村が設置している、河川監視カメラへのリンクを新たに追加しています。

- ※1：アクセス方法
URL:<https://www.kasen-suibo.metro.tokyo.lg.jp/s/tsim0401g.html>
- ※2：5分更新の静止画ですが、24時間前まで遡ることができます。

水防災総合情報システム
スマートフォン版



水防災総合情報システム
スマートフォン版

②東京都水防チャンネル(YouTube)※3

都内の河川では、集中豪雨などにより急激に水位が上昇することが多いため、YouTubeを活用した河川監視カメラ映像のライブ動画配信を実施しており、河川の状況をリアルタイムで確認できます。

- ※3：アクセス方法
URL:<https://www.youtube.com/@TokyoSuibou>

東京都水防チャンネル
(YouTube)



東京都水防チャンネル

③東京都防災Twitter※4

都の水防に関する情報をTwitterでも発信しています。河川の氾濫危険情報や土砂災害警戒情報などの水防情報を画像形式で迅速に視覚的に分かり易くツイートしています。

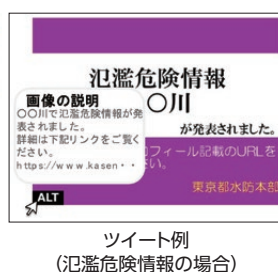
また、令和4年9月より、より多くの方々に情報を提供するため、ツイートの画像に説明文を追加しています。大雨時における避難行動にお役立てください。

- ※4：アクセス方法
URL:https://twitter.com/tokyo_bousai

東京都防災 Twitter
(東京都防災)



東京都防災Twitter
(アカウント名:東京都防災)



ツイート例
(氾濫危険情報の場合)

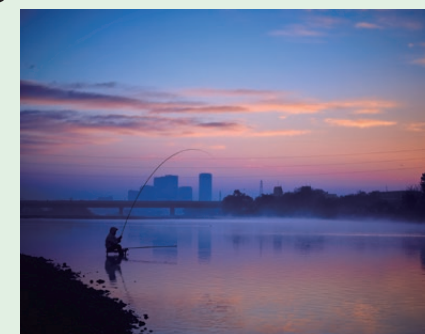


東京都では、毎年7月の河川愛護月間連行として「川のフォトコンテスト」を開催しています。このたび、「東京の川」への親しみや愛着を表現した写真を募集いたします。多くの作品のご応募お待ちしております！

- 応募締切 令和5年6月9日(金)(当日消印・受信有効)
- 応募規定 2L判以下又はJPEG データで1人2作品まで。(未発表、著作権・肖像権等で第三者の権利を侵害しないもの) ※都内の川の写真に限りです。
- 応募方法 郵 送：写真の裏面に作品名・河川名・撮影場所とその住所・撮影年月日・氏名・住所・電話番号・メールアドレスを明記の上、〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2-8-1 東京都建設局河川部へ。CD-R の応募も可。
メール：必要事項を本文に記載の上、ml-kawaphoto2023@section.metro.tokyo.jp へ(3MB未滿)



応募作品は特設サイトや新宿駅西口広場に展示予定です。詳細はホームページをご確認ください。



「川のフォトコンテスト2022」優秀作品

問い合わせ先

河川部計画課
TEL:03-5320-5425
HP:<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyog/river/keihatsu/index.html>



アジアゾウ「アヌーラ」 国内最高齢記録更新！

多摩動物公園 南園飼育展示第1係 田口陽介

多摩動物公園のアジアゾウ「アヌーラ」(オス)は、2023年1月1日で推定70歳となりました。これにより、アヌーラは井の頭自然文化園で飼育されていたアジアゾウ「はな子」(メス)が持っていた推定69歳(2016年5月死亡)という国内最高齢記録を更新することとなりました。

そんなアヌーラにこれからも長生きしてもらうため、私たちは日頃からさまざまな取組を行っています。たとえば、アヌーラの足への配慮があります。ゾウは体重が重いので硬い床では足への負担が大きく、また、足をけがすると起立不能になってしまうおそれがあります。起立できなくなると、3t以上の体重が内臓を圧迫し、死につながることもあります。それを防ぐため、アヌーラをなるべく足への負担が少ない砂地で過ごさせるようにしています。

また、アヌーラは高齢により歯の噛み合わせが悪いため、エサの乾草や青草を細かく咀嚼できません。咀嚼できなかった乾草や青草はフンにそのままの状態です。そこで、少しでも消化しやすいように乾草や青草を細断して与えています。

これまでのような飼育の工夫と、アヌーラ自身が持つ生命力のおかげか、アヌーラは70歳とは思えないほど元気な姿を見せてくれています。アヌーラが少しでも長生きできるように、これからもさまざまなケアを行ってまいります。



動物園の“かお” 上野動物園 アジアゾウ

2020年10月に上野動物園で初めて誕生したアジアゾウ「アルン(オス)」。120kgだった体重は2年半たち1,000kgを超え、新しくなった砂の放飼場で母親「ウタイ」と元気にすごしています。



写真:アジアゾウ「アルン」(手前)、「ウタイ」(奥)